# SOUNDFREAQ®

Sound Kick

JAPAN Version

SFQ-04

Bluetooth®

# 取扱説明書

※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。
※この説明書は大切に保管してください。

## 目　次


1．安全上のご注意……①

2．ご使用の前に
　2－1．商品内容……④
　2－2．各部の説明……④

3．ご使用方法
　3－1．X-Kick™チャンバーを引き出す……⑥
　3－2．AC アダプタの接続……⑥
　3－3．本体内蔵電池の充電……⑦
　3－4．外部機器への充電……⑧
　3－5．入力切替……⑨

4．Bluetooth によるワイヤレス再生
　4－1．SoundFreaq App のダウンロード……⑩
　4－2．ワイヤレス通信の設定（ペアリング）……⑪
　4－3．複数の Bluetooth 機器と通信するとき……⑫
　4－4．MacBook/MacBook Pro を使用するとき……⑫
　4－5．Windows PC を使用するとき (Windows 7 の場合 )……⑬

5．外部入力……⑭

6．より良い音をお楽しみいただくために……⑮

7．故障かな？と思ったら……⑯

8．技術仕様……⑰

製品保証書……巻末

## 1．安全上のご注意

**注　意**
感電の恐れあり
分解禁止

この三角形の中の稲妻マークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告します。

この三角形の中の感嘆符は、注意喚起を促すシンボルで、取扱説明書に重要な操作・保守（修理）上の指示が掲載されていることを表します。

**警告：**

**火災や感電の危険がありますので、本機を雨や湿気に曝さないでください。**

**カバーをはずしたり、内部を開けないでください。**本機の内部には高電圧が発生している場所があります。内部にはユーザーが交換できる部品はありません。資格のあるサービス員以外は修理を行わないでください。

**●安全のための重要な事項**

①以下の内容をよくお読みください。
②この説明書を、大切に保管してください。
③すべての事項に注意を払ってください。
④指示には必ず従ってください。
⑤本機を水気の近く（風呂場、洗面台、台所の流し、水気の多い地下室、プールなど）で使用しないでください。
⑥拭くときは、乾いた布を使用してください。
⑦適切な風通しが行えるよう、設置の際には説明書に従って十分な空間をあけてください。
⑧放熱器、熱源、暖房機器の様に、高温になる場所や、その他熱を発生する機器（音響機器を含む）の近くに置かないでください。
⑨本装置の AC アダプタプラグは平行 2 極プラグです。形状の違うコンセントには差し込まないでください。
⑩電源コードを踏んだり挟んだりしないよう、コードを適宜保護し、本機の近くまで適切な配線をしてください。また、たこ足配線はおやめください。
⑪必ず、メーカー指定の付属品／アクセサリーだけをご使用ください。
⑫必ず、メーカー指定のカート、スタンド、三脚、カバーまたは本機と一緒に販売されているものだけをご使用ください。カートをご使用の際は移動中に荷崩れを起こさないようご注意ください。

PORTABLE CART WARNING
(Symbol provided by RETAC)

⑬雷が鳴り出した時や、長期間本機を使用しない場合は、電源をコンセントから抜いてください。

⑭修理は、資格を持ったサービス員にご依頼ください。次のような損傷の際は、修理が必要です。電源やコードが損傷したとき、物体が本機の上に落下したり液体がこぼれたとき、本機が雨などで濡れたとき、本機を正常に操作できないとき、本機を落としたりケースが破損したとき。

⑮本機を水やしぶきのかかる場所に置かないでください。液体が入った容器を本機の近くに置かないでください。

⑯ AC アダプタをコンセントに差し込んでいる間は、待機電力を消費します。待機電力をなくすためには、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

⑰本装置に使用されている電池を、直射日光や火気など過度の熱にあてないでください。

⑱火のついたろうそくなど、いかなる裸火源も本機の上に置かないでください。

⑲本機に使用されている電池は各自治体の規則に従って適切にリサイクル / 処分してください。

⑳病院などの医療機関内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では本機を使用しないでください。医療機器等に影響を与え事故の原因となることがあります。

㉑電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがありますので、心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上はなしてご使用ください。（平成 17 年策定、平成 22 年 5 月改訂総務省指針によるものです）

㉒本機の使用によって火災報知器や自動ドアなどが誤作動する可能性がありますので、これらの自動制御機器の近くで本機を使用しないでください。

※ Sound Kick と、他の Bluetooth デバイスの対応条件については、それぞれのデバイスの説明書やメーカーサポート情報をご参照ください。国によっては、Bluetooth の使用について制限がある場合があります。各国の関連法規をご確認ください。

※ Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。

※本機底面の銘盤をご覧になり、入力電圧などをご確認ください。

**●ご注意：設置環境**

○本機は平らで、乾燥した場所、また、温度が高すぎたり、低すぎない場所に設置してください。動作に適切な温度は、5℃～35℃です。

○本機は適切な換気が得られる場所に置き、内部に熱がこもらないようにしてください。

○本機は磁気を持っていますので、磁気の影響を受けやすいテレビとは十分に離してください。

○テレビやラジオに雑音が入る場合は、これらの機器と本機を十分に離してください。

**●ご注意：適切な換気**

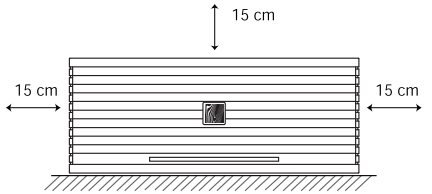
感電や火災の危険を避け、損傷を防ぐために、下記のように本機を設置してください。

**前面**：物でふさがない。

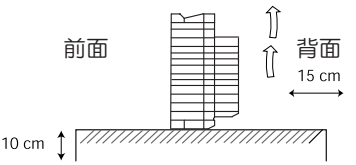
**横、上、うしろ**：物を置かず、それぞれ最低 15cm ずつの空間を確保する。

**底面**：平らな場所に置き、換気を確保するためにテーブルやスタンドの上など少なくとも 10cm 以上の高さのある場所に置く。

●正面




●側面



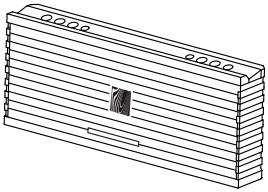

**●本機の適切な廃棄について**

本機を廃棄するときは、各自治体の電子／電気製品の処理規則に従って適切に処分してください。

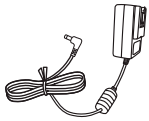
## 2．ご使用の前に

### 2－1．商品内容

ご使用の前に、以下の付属品がすべてそろっているかをご確認ください。もし、内容物が不足している場合、販売店にご連絡ください。



▲ Sound Kick 本体

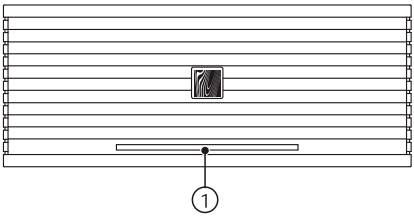


▲ AC アダプタ

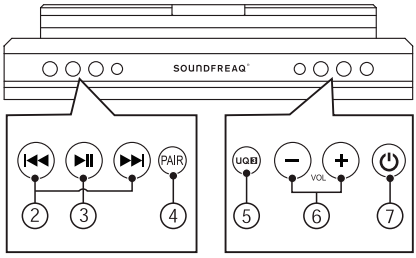
▲オーディオケーブル

### 2－2．各部の説明

●前面




●上面




**①ランプ**

電源 ON 時に点灯します。また、Bluetooth ペアリングのとき、状態を表示するために点滅します。

**② ⏮（戻し）／ ⏭（送り）ボタン**

Bluetooth モードのとき、曲の戻し / 送りに使用します。

**③ ⏯（Play/Pause）ボタン**

曲の再生 / 一時停止を行います。

**④ PAIR ボタン**

Bluetooth 機器とのワイヤレス接続を設定 ( ペアリング ) するときに使用します。

**⑤ UQ3 ボタン**

ボタンにタッチするごとに U-Cubed 音響効果（ワイドステレオ）の ON/OFF が切り替わります。

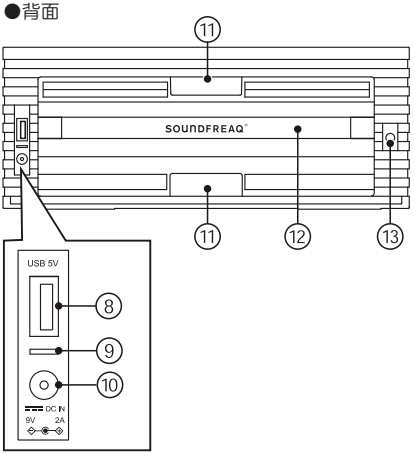
**⑥ VOL ＋／－ボタン**

音量を調節します。

**⑦ ⏻（電源）ボタン**

電源の ON/OFF を行います。電源を一度 OFF したあとは、3 秒以上間隔をあけて ON してください。

●背面




**⑧ USB 電源ジャック**

このジャックから、USB 機器への充電を行うことができます。

**⑨充電インジケータ**

**⑩ DC IN ジャック**

付属の AC アダプタを接続します。

**⑪取っ手**

**⑫ X-Kick™ チャンバー**

**⑬ AUX IN ジャック**

外部入力機器を接続します。3.5mm ステレオミニプラグを接続できます。

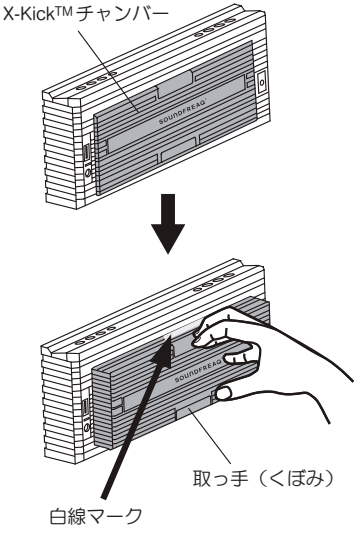
## 3．ご使用方法

### 3－1．X-Kick™チャンバーを引き出す

**ご注意: Sound Kick は、X-Kick™チャンバーを完全に引き出さないと動作しません。**

取っ手に指をかけて、チャンバーを引き出します。白線マークが見えるまで完全に引き出します。

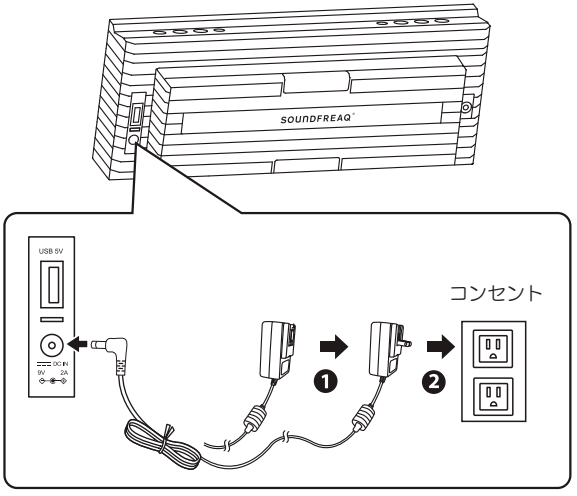
**メモ：**チャンバーを収納すると、自動的に電源が OFF になります。




### 3－2．AC アダプタの接続

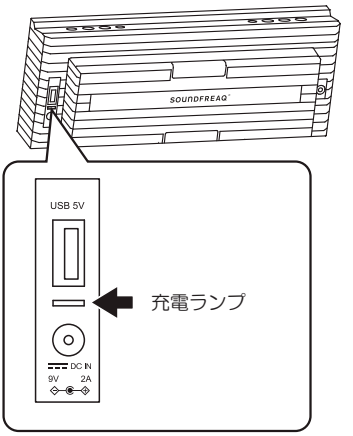
**警告！付属の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。本機は AC 100～240V 50/60Hz の電源に対応しています。差し込む前にコンセントの仕様をご確認ください。**

① AC アダプタのプラグを引き起こします。
② AC アダプタをコンセントに差し込み、プラグを**DC IN**ジャックに接続すれば、本機への配線は完了です。



### 3－3．本体内蔵電池の充電

Sound Kick は、内蔵のリチウムイオン電池によって、AC アダプタが使えないところでも動作することができます。AC アダプタが接続されている間、本体の電池は充電されます。DC IN ジャック横の充電ランプが、充電中は赤、充電が終わると緑に光ります。電池で駆動中にランプが赤く点滅した場合、電池残量が 10% 以下になったことを表します。




**はじめてお使いになるときは、必ず 12 時間以上充電してください。**

**メモ：**
お客様による充電池の交換は行わないでください。
電池を使い切った状態からのフル充電には、約 3 時間かかります。
電池の破裂や液漏れの危険がありますので、本機を火気に投入しないでください。

本機で使用している充電池は下記の仕様です。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **電池のタイプ** | リチウムイオン充電池 | **定格電圧** | 3.7V |
| **モデル No.** | LC 18650 | **容量** | 2200mAh |

**警告！：仕様の合わない電池を使用すると、爆発、破裂の危険があります。電池は直射日光や、火気など、直射日光や火気など過度の熱にあてないでください。**

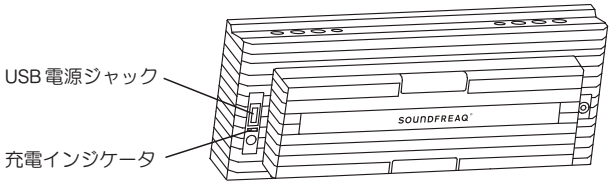
**●電池残量の確認方法**

⏯（Play/Pause）ボタンを押し続けた時の充電ランプの状態により、電池残量を確認することができます。

| ランプの状態 | 残量 |
|---|---|
| 緑点灯 90% 以上 | 90% 以上 |
| 緑点滅（3 回） | 90% ～ 70% |
| 緑点滅（1 回） | 70% ～ 50% |
| 赤点滅（1 回） | 50% ～ 30% |
| 赤点滅（3 回） | 30% ～ 10% |
| 赤点灯 | 10% 以下 |

### 3－4．外部機器への充電

本機のUSB電源ジャックから、USB充電に対応するほとんどの機器を充電することができます。
（携帯電話、スマートフォン、ヘッドセット、音楽プレーヤーなど）




**メモ：**充電するときは、それぞれの機器に対応したUSB充電ケーブルをご使用ください。

Sound Kickを大音量で動作させているときは、電池の急激な消耗を防ぐため外部機器への充電は停止します。

※Sound Kickの音量設定が規定以下の場合は、外部機器への充電が可能です。このとき、充電インジケータは緑色に点灯します。

※Sound Kickの音量設定が規定を超えている場合、外部機器への充電はできません。このとき、充電インジケータは消灯します。

※Sound Kickのバッテリー残量が10%以下の時、充電インジケータは赤色に点灯します。

**メモ：**外部機器を充電するときは、Sound Kickを十分に充電した状態で行なうか、またはACアダプタを接続することをおすすめします。

### 3－5．入力切替

Sound Kick は Bluetooth、AUX の 2 つの音声入力が可能です。

Bluetooth ワイヤレスオーディオに対応した機器からは Bluetooth 入力、またオーディオケーブルによる接続では AUX（外部入力）をご利用いただけます。オーディオケーブルを差し込むと、入力は自動的に AUX に切り替わります。
"SoundFreaq Remote" アプリを利用すると、画面上の **SOURCE** ボタンによる入力切り替えを行なうことができます。（Android 用アプリのみの機能です）

## 4．Bluetooth によるワイヤレス再生

### 4－1．SoundFreaq App のダウンロード

Bluetooth のワイヤレス環境で、Bluetooth 機器から Sound Kick の操作が可能な無料アプリ "SoundFreaq Remote" を提供しています。
Apple 社製 iOS デバイス（iPhone/iPad/iPod touch）用は App Store※から、Android デバイス用はGoogle Playストアからそれぞれ無料でダウンロードしていただけます。

**※ App Store からのダウンロード**

App Store からダウンロードする際には、アカウント（ID とパスワード）が必要です。アカウントを取得していない場合は、iTunes Store（または App Store）にアクセスして「Apple ID を作成」を行ってください。メールアドレスやクレジットカード情報などの入力が必要ですが、無料のアプリには料金はかかりません。

ダウンロードする際、iPhone/iPad は電話回線または無線 LAN でネットワークに接続されている必要があります。もし、iPad（iPod touch を含む）がネットワークに接続されていない場合は、インターネットに接続した PC の iTunes で "SoundFreaq Remote" アプリをダウンロードして、後で iPad に転送することもできます。

"SoundFreaq Remote" アプリをインストール後は、Bluetooth 機器から Sound Kick をコントロールできるようになります。

**ご注意：Bluetooth 接続で再生中に、AC アダプタをコンセントから抜かないでください。**

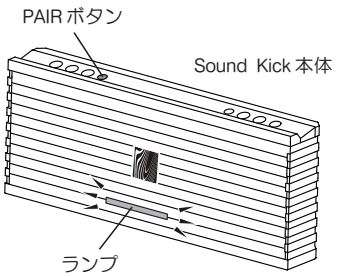
**メモ：**

- A2DP ワイヤレス伝送に対応する携帯電話、タブレットからも、Sound Kick によってワイヤレスで音楽を再生することができます。（ワンセグ TV 音声は再生できません）
- 携帯電話や iPhone/iPad 以外にも、Bluetooth 対応の機器からのワイヤレス再生が可能です。

## 4－2．ワイヤレス通信の設定（ペアリング）

①X-Kick™チャンバーを引き出します。
②本体の⏻ボタンを押してSound Kickの電源をONにします。
※電源をONにすると、本体正面のランプが点灯します。
※電源がONにならないときは、X-Kick™チャンバーがいっぱいに引き出されているかご確認ください。

③本体の**PAIR**ボタンにタッチしてペアモードにします。
※正面のランプが早く点滅します。
※**PAIR**ボタンを5秒以上タッチし続けると、ペアモードは中止されます。




④Bluetooth機器を操作して、Bluetooth通信の設定を開始します。
※Bluetooth通信の設定方法は、それぞれの機器によって異なります。詳しくはそれぞれの機器の説明書をご参照ください。
※設定中は、Bluetooth機器とSound Kickとの距離を10m以内に保ってください。

⑤Bluetooth機器がSound Kickを検出すると、機器の画面に**"Sound Kick"**と表示されますので、この項目を指定してください。もし、接続時にパスコードを要求された場合は「**1234**」を入力してください。
※iPhone/iPad の場合「設定」→「一般」メニューから「Bluetooth」をタップして「オン」になっていることを確認し、しばらくすると検出されたSound Kickの文字が表示されます。Sound Kickの文字をタップすると接続します。なお、この手順は変更されることがあります。
※ランプが点滅している間は、接続の設定中です。
※接続に成功すると、ランプは点灯にかわります。

⑥再生機器でご希望の曲を選び、再生操作を行います。
※リモートアプリを使用せずにワイヤレス再生するときは、AUX-INジャックからオーディオケーブルを抜いておく必要があります。
※機器との接続が3分以内に完了しなかった場合、ランプは点灯にかわります。このときは、もう一度手順③からやり直してください。

### 4－3．複数の Bluetooth 機器と通信するとき

Bluetooth 機器との接続は、同時には 1 台の機器としか行うことができませんが、使いたい機器それぞれと接続設定（ペアリング）しておけば、必要によって切り替えて使用することができます。

① Sound Kick の **PAIR** ボタンにタッチします。

② Bluetooth 機器を操作して Sound Kick と接続します。

新しい機器と接続が設定されると、それまでの機器との接続は切られます。接続を切り替えるには、つど、接続の再設定を行ってください。

**メモ：**音声が出ない場合は、Sound Kick、および再生機器の音量が絞られていないか、また、再生機器の出力がミュート（消音）に設定されていないかをご確認ください。

### 4－4．MacBook/MacBook Pro を使用するとき

①画面右上の ✱ アイコンのメニューから、"Bluetooth 環境設定を開く ..." を選択します。（システム環境設定の Bluetooth を選択することもできます）このとき、Bluetooth" 入 "、と " 検出可能にする " のチェックボックスがマークされていることをご確認ください。

②まだいずれの Bluetooth 機器も設定していない場合は " 新しいデバイスを設定 " をクリックします。すでに他の Bluetooth 機器を設定している場合はウィンドウ左下の "+" をクリックします。画面表示を確認し、" 続ける " をクリックします。
デバイスのタイプを選択する画面では " 任意のデバイス " を選択して、" 続ける " をクリックします。

③ Sound Kick の **PAIR** ボタンにタッチします。
検出が終わると、画面上に "Sound Kick" が表示されます。 デバイスのタイプが " オーディオ " と表示されていることを確認して、Sound Kick をクリックして反転表示させ、" 続ける " をクリックします。パスキーを要求する画面が表示されますので、"**1234**" を入力し、確認画面を経て次に進みます。

④画面の表示を確認し、" このコンピュータのヘッドホンとしてデバイスを使用 " のチェックボックスがマークされていることを確認し、" 終了 " をクリックします。Bluetooth の設定アシスタントが終了し、Sound Kick が使用可能なデバイスのリストに登録されたことを確認します。（この段階では、まだ Sound Kick から音は出ません）

**メモ：**表示や検出が完全に終了しないうちには次の画面に進まないでください。接続が不完全に終わることがあります。

⑤ iTunes を開いて、再生してみましょう。画面右上の ✱ アイコンのメニューに、Sound Kick が追加されています。このサブメニューの " ヘッドフォンを使用 " を選択します。少したつと、Sound Kick から再生音が出力されます。もし、出力されない場合は、この操作を再度行ってみてください。

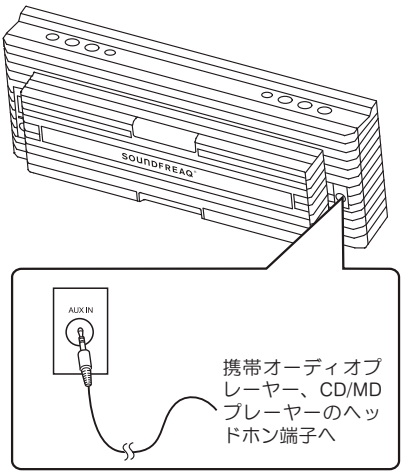
### 4－5．Windows PC を使用するとき（Windows 7 の場合）

①" スタート " ボタンをクリックし、" デバイスとプリンター " ダイアログを開きます。
② Sound Kick の **PAIR** ボタンにタッチします。
③" デバイスの追加 " ボタンをクリックします。Sound Kick のアイコンが表示されます。
④ Sound Kick のアイコンをクリックして " 次へ " ボタンをクリックして、 デバイスの追加を行います。
⑤デバイスの登録が完了したことを通知するダイアログが表示されます。この中の " デバイスとプリンター " の文字をクリックし、Sound Kick のアイコンがデバイスに追加されたことを確認します。
⑥表示された Sound Kick のアイコンをダブルクリックして、接続画面を表示します。
⑦" ミュージックアンドオーディオ " オプションの中の " 接続 " ボタンをクリックします。
⑧ Sound Kick のランプが点灯に変わり、接続に成功したことがコンピュータの画面に表示されていることを確認してください。

## 5．外部入力

**●外部オーディオ装置を接続する**

Sound Kick は外部入力端子を使って、携帯音楽プレーヤー、CD プレーヤーなどのオーディオ装置、TV などの音声を本機で楽しむことができます。接続するときは、本機とオーディオ装置の電源を OFF にしてください。接続に関する詳しいことは、オーディオ装置の説明書をご覧ください。外部オーディオ装置は、Sound Kick 背面の AUX IN ジャックに付属のオーディオケーブル（3.5mm ステレオミニプラグコード）で接続します。




① X-Kick™ チャンバーを引き出します。
② Sound Kick の電源を ON にします。
③ボリュームを絞ってください。
④オーディオ装置のボリュームを適度に調節し、再生を開始します。
⑤お好みの音量に調節してお楽しみください。

**メモ：**AUX IN ジャックにオーディオケーブルを差し込むと、自動的に外部入力モードに切り替わります。"SoundFreaq Remote" アプリを利用すると、画面上の **SOURCE** ボタンによる入力切り替えも行なうことができます。（Android 用アプリのみの機能です）

ボリュームを変更中は、ランプが点滅します。ボリュームボタンを押してもランプが点滅しないときは、ボリュームが最低、または最大になっています。

## 6．より良い音をお楽しみいただくために

UQ3™ "U-Cubed" は、デジタルミュージックシステムのステレオ音場を大きく広げるように設計された独自の技術です。忠実で高品質な、他に例を見ない自然な音で、仮想的な広い音響空間を作り出します。

**● UQ3 を有効にするには**

○本体の **UQ3** ボタンにタッチすると UQ3 効果が ON になります。もう一度タッチすると UQ3 効果が OFF になります。ON に切り替えると前面のランプが 1 回点滅、OFF に切り替えると 2 回点滅します。

○リモートアプリ画面の **UQ3** ボタンで ON/OFF を切り替えます。(Android 用アプリのみの機能です )

Sound Kick は、最良の音響バランスに調整してあります。さらにお好みの音質で再生するには、再生機器の EQ（イコライザ）を調節してください。

**メモ：**UQ3 音響効果と同時に使用した場合、EQ の設定によっては音がひずむことがあります。

より良い音でお楽しみいただくにはスピーカーと再生機器両方のボリューム調節が必要になります。一般に、再生機器のボリュームは最大音量の 70 ～ 90%が最も良い音質が得られます。

**メモ：**スピーカー装置全般に、再生機器とスピーカー両方の音量を最大にした場合には出力過大となり、音にひずみが生じますので音量を適度に調節してください。また、iOS デバイスや一部のオーディオ装置には " 音量制限 " 機能があります。音量制限によって音が小さすぎる場合はこの機能を解除してください。

Sound Kick は広帯域の音声信号を余すことなく再生します。「ロスレス」や「低圧縮」の高品質なデジタル音楽再生では、一般的な圧縮音源との音質の差をおわかりいただけるでしょう。

## 7．故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、下記の項目をご確認ください。

| こんなときは | ここをご確認ください |
|---|---|
| 電源が入らない | ○バッテリーが消耗している可能性があります。装置を充電してください。 |
| 音が出ない | ○ Sound Kick の音量が最低になっていませんか？<br>○ Bluetooth 機器をお使いの場合、機器の再生音量が最低になっていませんか？<br>○ "ミュート"（消音）状態になっていませんか？リモコンアプリの **MUTE** ボタンを押して、ミュートを解除してください。<br>○ Bluetooth 機器がミュート状態になっていませんか？<br>○ AUX IN ジャックにオーディオケーブルが差し込まれていませんか？オーディオケーブルを抜いてください。 |
| Sound Kick の電源が突然切れる | ○無音の状態が約 30 分以上続くと、Sound Kick は省エネルギーモードになります。電源を入れ直し、音楽を再生してみてください。<br>○電池が消耗し、動作に支障が生じると前面のランプが点滅し、電源が切れます。装置を充電してから使用するか、AC アダプタを接続した状態で使用してください。 |
| Bluetooth 接続で音が出ない、または自動的に再接続されない | ○ Bluetooth 接続で再生中に Sound Kick の電源がいったん切られた可能性があります。Bluetooth 機器から再度接続操作を行なってください。 |
| USB 電源ジャックに USB 機器を接続したが充電されない | ○ USB ケーブルが、充電用ではない可能性があります。別のケーブルでお試しください。<br>○バッテリー駆動中は Sound Kickの音量設定が規定を超えている場合、外部機器への充電はできません。このとき、充電インジケータは消灯します。 |
| Bluetooth 接続の設定ができない | ○ Sound Kick とBluetooth 機器間で、はじめて接続設定を行なう際に接続がうまくできないときは、Bluetooth 機器の電源を入れ直し、検出されたデバイス（本機）の名前をいったん削除してから設定し直してください。 |

## 8. 技術仕様

| | |
|---|---|
| 型番 | SFQ-04 |
| 機器名称 | Sound Kick |
| 音声入力 | Bluetooth |
| | 3.5mm ステレオミニジャック (AUX IN 1200mV) |
| 音声出力 | 2ch ステレオ 5W × 2 THD10%（AC 駆動時） 2.7W × 2 THD10%（バッテリー駆動時） X-KICK スピーカーチャンバー +JPORT |
| 音量調節 | デジタルボリューム 30 段階 |
| サウンド拡張 | U-Cubed（UQ3）音響拡張機能 |
| Bluetooth 仕様 | バージョン：Bluetooth 1.2/2.0/2.1 +EDR |
| | 対応プロファイル：A2DP |
| | 到達距離：約 10m （Class 2） |
| 本体操作ボタン | 電源、音量＋、音量ー、UQ3、PAIR、FF、Play/Pause、REW |
| 出力 | USB 電源出力（USB 機器充電用） 5V 500mA<br>バッテリー駆動時も出力（但し音量設定 70% 以下） |
| 電源 | AC アダプタ 入力 100 ～ 240VAC 50/60Hz、出力 9VDC 2A<br>および内蔵 Li-Ion バッテリー（2200mAh） |
| バッテリー持続時間 | 連続約 7 時間（音量など、動作条件によります） |
| 寸法 | 267mm(幅)×106mm(高さ)×40mm(奥行き)、最厚部42mm |
| 重量 | 750g（本体） |
| 製品構成 | Sound Kick 本体、AC アダプタ、オーディオケーブル、クイックスタートガイド、取扱説明書（兼保証書） |

**おことわり**：製品の仕様及びデザインは、予告無く変更することがあります。このため、使用方法に変更が生じる場合があります。また、説明文中の機器の画面表示内容や手順は、変更される場合があります。